

1. 基本情報

評価対象年度 ( 令和2 年度)

施策コード	322	施策名	地域連携による学校教育
将来像	3	子どもたちを健やかに育むまち(「人づくり」の分野)	
まちづくりの基本目標	32	子どもが生きる力・考える力を身につけられるまち	
主担当部	教育部	主担当課	生涯学習スポーツ課

2. 施策の方向

10年後の姿	学校と地域の連携・協働を一層充実することで、子どもたちが健やかに成長するとともに、学校を核とした家庭・地域の力が向上しています。		
施策の方向性	1	地域と学校が協働して子どもを健やかに育みます	
	2	地域・保護者が学校運営にかかわる新しいしくみをつくります	

3. 構成事業の状況

(単位:千円)

事務事業名	施策の方向性	担当課	令和2年度決算額
学校支援本部事業	1、2	生涯学習スポーツ課	583
コミュニティハウス事業	1、2	教育指導課	89,008
総事業費(施策の合計)			89,591

4. まちづくり指標

指標情報				令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和5年度	令和7年度	
①	名称	学校支援地域組織の設置校数		目標値	5	13	14	14	14
	説明	—	単位 校	実績値	12	14			
	抽出方法	所管課統計		達成率	240.0%	107.7%			
②	名称	コミュニティスクールの校数		目標値	0	0	0	1	5
	説明	—	単位 校	実績値	0	0			
	抽出方法	所管課統計		達成率	—	—			
③	名称	学校の行事に協力したり参加したりしたことがある人の割合		目標値	—	38.0	41.0	42.5	45.0
	説明	—	単位 %	実績値	37.0(※)	40.3			
	抽出方法	市政世論調査(令和2、5、8年度実施)		達成率	—	106.1%			

※平成29年度実績値

5. 評価(令和2年度実績に対する)

評価基準	評価※	評価理由
投入財源・成果(「3. 構成事業の状況」「4. まちづくり指標」)に対する評価	順調	<ul style="list-style-type: none"> <li>●令和2年度には全14校の学校支援地域本部が設置された。</li> <li>●コミュニティスクール化を推進するためには、地域コミュニティが学校を支援し、運営に関わることが必要不可欠である。コミュニティスクール化の前段階として、学校支援地域本部の設置とともに活性化支援、地域コーディネーターの活動実績等を積み上げている。</li> </ul>

※順調「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が順調に推移している  
維持「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗に一部課題がある  
停滞「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が遅れている

6. 施策を取り巻く環境

令和2年度からの変更点	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により地域の方々の協働がしづらくなっている。
-------------	---

7. 施策を進める上での課題

①	施策を進める上での課題	コーディネーターの養成及び学校支援地域本部の構成員の確保が必要である。
	課題に対する令和4年度以降の取組	定期的な研修の実施と学校やPTAへの周知広報を実施していく。
②	施策を進める上での課題	学校支援地域本部の自主税源を確保する必要がある。
	課題に対する令和4年度以降の取組	学校支援本部は、コロナ禍においてなかなか活動ができない状況が続いているが、自らの裁量で使える財源があることは、この制度に合致しているため、現状の仕組みや環境を整理し、財源を確保する仕組みを検討する。